

第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

作業別	No.	質問	回答
全	1	ストップウォッチ付き腕時計の使用又はストップウォッチを競技中に使用してもよろしいですか。また、最初に「ピッ」という音がしますが良いですか。	競技実施要領の(3)一般注意事項に明記しましたが、ストップウォッチの使用を認めます。ただし、競技時間についての異議は認めません。また、計時開始時の音以外のアラーム音等を鳴らした場合は減点の対象とします。 <u>なお、ウェアラブル端末やストップウォッチ機能付きなど全ての腕時計の持込み及び使用を認めません。</u>
全	2	図紙、オフセット用紙、面積計算簿の種類規格等は通知されますか。	用紙は、天候に関わらず以下のものです。 図紙・・・桜井(株)ビューレックス IB VIB03 (A3 版) オフセット用紙・・・桜井(株)ビューレックス IB VIB04 (A4 版) 面積計算簿・計算用紙・・・上質紙 (A4 版)
全	3	第1次作業において、踏査から競技開始までの時間はどれくらいですか。また、第2次作業、第3次作業の準備時間はどれくらいですか。	すべてのチームが作業準備を整えたことを確認してから競技を開始します。ただし、準備の時間中に作業を開始したと見なされる行為があった場合は、減点の対象とします。
全	4	踏査及び作業中にメモをとり、その後の作業でメモを見ても良いですか。	競技実施要領の(3)一般注意事項に明記しましたが、 <u>メモ用紙の使用は認めません。</u> 従って、踏査中にメモをとってはいけません。作業中に図面やオフセット野帳にメモした場合は、終了合図前に必ず消して下さい。メモを消さずに残した場合、減点の対象とします。
全	5	字消し版の使用は可能ですか。	使用できません。減点の対象とします。
全	6	三角スケールで線を引いても良いですか。	減点の対象とします。
全	7	三角スケールは1組とありますが、副尺(オフセット尺)を準備する必要がありますか。	使用しないのであれば器具点検に提出する必要はありません。(準備しなくても良いです。)
全	8	市販の方眼目盛り入り定規を使用しても良いですか。	良いです。
全	9	使用器械器具等の小刀は、切り出しナイフやカッターナイフ等でも良いですか。	良いです。
全	10	市販品で最初から指先がカットされている手袋を使用する場合、加工と見なされますか。	加工とは見なしません。減点の対象としません。
全	11	平板や三脚などに、購入時の日付や印があります。使用できますか。	印字等がないものが望ましいですが、器具点検においてやむを得ないと判断できるものは減点しません。
全	12	目印となる位置でなければ、器具等に学校名のシールを貼ってもかまいませんか。	貼って良いのは、事前に送付する平板用ラベルシールのみとし、新たにシールを貼らないでください。
全	13	使用器具が故障又は破損した場合、その時点で失格となりますか。	故障や破損をしても 続行可能であれば 失格にはなりません。そのまま実施してください。器具類は事前に確認をし、故障や破損の心配のないものを使用してください。
全	14	使用器具が故障または破損した場合に備え、予備の器具を持ち込んでも良いですか。	競技には器具点検を受けた器具のみを使用することができます。また、器具点検時においては、全国大会実施基準で指定された数量の器具を準備してください。
全	15	読みにくい数字を書いた場合、優劣に影響しますか。	その程度により判断します。
全	16	実施基準のD採点基準(d)作業動作・作業態度に、「不良なものはその程度により総点より減点する。」とありますが、どのようなものが減点の対象ですか。	不良作業動作については、この事前Q & Aの回答並びに競技実施要領の(2)指示事項及び(3)一般注意事項を参考にしてください。
全	17	審査員の持っている審査用紙を公開しますか。	公開しません。

第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

		全	18	競技開始後大雨となり、2回次以降の作業が困難になった場合どうなりますか。	第1回次競技開始後の競技変更はしません。天候不順の時は、各チームで雨具・着替え等を準備してください。
		全	19	晴天時競技を実施中、突然落雷のおそれが生じた場合は中断すると思われます。その場合の再開は、中断前の状態からか、競技のやり直しのどちらになりますか。	審査長の判断により決定します。
		全	20	車酔いをする生徒がいます。シャトルバスの座席は決まっていますか。	指定はありません。その場で申し出ていただくことで、可能な範囲の配慮をいたします。
1			21	平板移動器は半球面式や整準ネジ式等を使用しても良いですか。	平板移動器及び三脚の種類に規定はありません。
1			22	27 cmのワイドアリダードを使用しても良いか。また、プリズム付アリダードを使用しても良いですか。	ワイドアリダードは使用可能ですが、プリズム付アリダードや望遠鏡付アリダードは使用できません。全国大会実施基準では「普通アリダード」を使用器具として挙げています。普通アリダードとは、前視準板の中に視準糸があり、前視準板と後視準板と定規で構成されたものを指します。
1			23	アリダードに付属する定規に刻まれている縮尺について、任意の縮尺でも良いですか。それとも1/200でない縮尺の対象となりますか。	1/200以外の任意の縮尺でも減点の対象としません。ただし、 <u>図上の距離測定におけるアリダードの定規の使用は認めません。</u>
1			24	図上での距離測定において、三角スケールの代わりにアリダードに付属する定規を利用しても良いですか。	<u>図上の距離測定にアリダードの定規を利用しないでください。</u> 三角スケールを使用し測定してください。
1			25	アリダードの定規縁で線を引いても良いですか。	良いです。
1			26	第1次作業で線引きする際、三角定規、直定規のどちらを使用しても良いですか。	良いです。
1			27	平板の据え付けにおいて、三脚の踏み込みがつかない三脚は踏み込みができないので、手で三脚を押して固定しても良いですか。また、三脚は3本とも固定しないと減点の対象となりますか。	手で三脚を押して固定してください。観測中は、三脚が動かないように3本とも固定してください。固定しない場合は、減点の対象とします。
1			28	平板の据え付け時に、平板の高さを低くし、膝をつきながら測定するのは減点の対象となりますか。	減点の対象としません。適切な高さに据え付けるようにしてください。
1			29	作業中は、三脚の脚を完全に伸ばしていないと減点の対象となりますか。	減点の対象としません。適切な高さに据え付けるようにしてください。
1			30	三脚に持ち運ぶためのストラップがついているが、競技中は外した状態で使用しても減点になりませんか。	減点の対象としませんが、器具点検の際は、ついている状態で点検を受けてください。
1			31	針先0.2 mmの測量針が手に入りません。まち針を加工して、0.2 mmに近づけたものを使用しても良いか。	やむを得ない状況なので、測量針に関しては、まち針の代用とその加工を認めます。
1			32	第1次作業開始時に、測量針を図紙上以外の平板上（右上のスミ付近）に打ってある状態ならば減点の対象になりませんか。	減点の対象としません。
1			33	第1次作業中に測量針を持ち運ぶため紛失防止のため、図のよう  に測量針を消しゴムに刺しても良いか。また、それができない場合は、測量針を入れる小さなケースを平板上において作業をしても良いか。その場合、器具点検でその小ケースの点検を受ける必要がありますか。	まず、消しゴムを目的以外のことに利用することは避けてください。減点の対象とします。小ケースの使用に関しては、測量針の紛失防止ということで認め、減点の対象としませんが、競技に使用する器械器具等は全て器具点検を受けてください。
1			34	測量針が折れた場合、図板から抜くために小型のペンチ（ラジオペンチ）を使用しても良いですか。	使用は認めません。全国大会実施基準及び北陸大会実施要領内の競技実施要領を参考ください。

第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

1		35	測量針が折れ、図板から抜くことができない場合、どのように対処したら良いですか。	作業や成果物等に支障がないように続行して下さい。
1		36	作業中に測量針が折れた時や落としたときは減点の対象となりますか。	測量針の破損については、減点の対象としません。しかし、地面に落下した場合は、減点の対象とします。
1		37	磁針器は平板に固定しておかないといけませんか。	固定をせずに、使用後は片付けてください。
		38	方位は北を上にして、図厚線の短辺と平行でなければなりませんか。	図面の右上に、北をほぼ上方にして書けば平行でなくてもかまいません。また、図面の置き方は指定されていないので、短辺が上下になってもかまいません。
1		39	方位は、いつどのように引けば良いですか。	南北を示す縦線だけは、最初に据え付けたNo.1の測点において磁針箱で引いてください。 残りの線は、第1次作業の時間内に定規を使用して引いてください。 
1		40	北はほぼ上方が良いとのことですが、ほぼ上方とは約何度(何目盛)ですか。また縮尺とNの記載はどれがふさわしいか。 	方位記号の傾きについては、全国大会実施基準のとおりが望ましいです。なお、著しい場合を除けば、入賞判断の際の参考にします。 
1		41	方位の記載について、磁針箱の縁を用いて南北を示す縦線を引く作業は、3人のうち誰が行っても良いか。	良いです。
1		42	平板の標定において、三脚脚部の移心回転装置に付属する整準固定ねじや平板取り付けねじの締め付けは、選手3人のうち誰が行っても良いですか。	良いです。
1		43	平板の標定において、補助者が三脚の脚を押さえる行為は減点の対象となりますか。	減点の対象としません。
1		44	三脚固定の作業中に求心器と下げ振りを使用しますが、平板上にアリゲードや磁針箱などを置いたまま作業した場合は減点の対象となりますか。	減点の対象としません。
1		45	標定の際に、図面上の点と地上の測点が合わなかった場合、もう一度標定するときに平板上に器具を置いた状態で再度標定を行っても良いですか。	同一の測点であれば、かまいません。
1		46	測距の際に、三脚を閉じずに平板上に器具等を載せた状態のままで、1~2m移動させても良いですか。	良いです。三脚ごと平板を1~2m移動させた後は、再び脚先を地面にしっかりと踏み込んでください。
1		47	トランシット用の下げ振りを使用しても良いですか。	平板用以外は使用できません。減点の対象とします。
		48	標定の際に、求心器が三脚等に接触して音が出たり、下げ振りが測点に当たると減点の対象となりますか。	減点の対象としません。
1		49	求心や距離測定の際に腰を下ろしますが、その際、下げ振りの糸が地面につくと減点の対象となりますか。	減点の対象としませんが、平板上の器具・筆記用具等が落ちたと判断された場合は、減点の対象とします。
1		50	測点間の移動の際、三脚を閉じる必要がありますか。また、三脚脚部のネジは緩めなければなりませんか。	三脚は閉じて移動してください。ネジは競技者の判断でよろしいです。
1		51	補助者やポール手は、器具等を手に持ったまま移動しても良いですか。	良いです。ただし、ポケット等にしまえる大きさの器具は、なるべくしまってから移動してください。
1		52	第1次作業において、下げ振りを求心器につるしたままの状態、手に持って移動しても良いですか。	下げ振りを求心器につるしたままの状態、手に持って移動した場合は、減点の対象とします。
1		53	第1次作業において、下げ振りを首にかけ、おもりを胸ポケットに入れるなどして移動して良いですか。	減点の対象としません。

第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

1		54	第1次作業において、巻尺の先送りは可能ですか。 例) No.1に平板を据え付けている際、No.1～No.2の測距後、No.2～No.3の測点間に巻尺を伸ばして置いておく。	巻尺を伸ばして先に置いても良いですが、測距は平板が測点に移動してから行ってください。また、測距を行えるのは視準するその測線のみです。
1		55	No.2に移動後、据え付け(整準・求心・定位)が完了する前にNo.2～No.3の測距を行って良いですか。	移動後の据え付け作業中であれば、かまいません。
1		56	第1次作業での測距は、平板が移動してなっていますが、それは平板を完全に据えてからか、それとも据え付けている途中のどちらでも良いですか。	どちらでも良いです。
1		57	三脚をまたぐ動作は減点の対象となりますか。また、測点をまたいだ場合はどうですか。	判断が難しいため審査対象とはしませんが、観測中に三脚や測点を蹴ったりした場合は、減点の対象とします。
1		58	各測点における前視の視準にて、測点をプロットする際に方向線(チェック線)を引かず、測量針を図紙上に刺して距離測定を行い測点の位置を決定すると、図紙上に針の跡が残るが、減点の対象となりますか。	方向線を定める際に残る針の穴は、減点としません。
1		59	第1次作業時のNo.3以降の点において、No.1にポールを立てアリダードを使用せずに目視による誤差の確認をしても良いですか。	最終測点以外の測点において、前・後視以外の測点を目視により確認をした場合は、減点の対象とします。なお、どの測点においても、 <u>アリダードを用いて視準できるのは、前視と後視のみ</u> です。
1		60	最終測点で閉合誤差を生じた際、前視・後視以外の点について、アリダードを使用せずに目視で確認しても良いですか。	最終測点に限り、前後の測点以外の目視による確認を認めますが、 <u>アリダードにより前・後視以外の測点を視準した場合は、減点の対象とします。</u>
1		61	第1次作業において、測点に○印をつけても良いですか。	作業終了時に測点に○印をつけるなど、記入事項以外の記載があれば減点の対象とします。
1		62	第1次作業終了時の境界線の引き方は、どちらが正しいですか。  図A 図B	第1次作業終了時はどちらでも良いですが、第3次作業の仕上がり図面では、図Bのように結線してください。
1		63	第1次作業終了時の境界線が測点よりはみ出している場合は、減点の対象になりますか。また、はみ出しても良い場合は、どのくらいまで(例:測線の倍以上)が認められる範囲になりますか	第1次作業終了時では、減点の対象にはなりません。(方向線と測点位置が明示されている。)
1		64	全国大会実施基準 P.18のC-(1)-⑧に、「図面には測点番号を記入する。」とありますが、第1次作業において閉合誤差が生じた際に、No.1の位置を示す点の測点番号は、No.1と記入すればよいですか。	閉合誤差が生じた際には、選手が測点の区別がつくように、「No.1'」と測点番号に「' (ダッシュ)」を付けて記入してもよいです。「No.1'」は記入しなくても減点とはなりません。
1		65	第1次作業終了時における測点番号の記載は、次のどれでもよろしいですか。 1 No. 1 No、1 No, 1	第1次作業ではどれでも良いです。ただし、オフセット野帳及び第3次作業の仕上がり図面では、「No. 1」としてください。
1		66	第1次作業終了時の出場校番号の記入は、次のどれでもよろしいですか。 2 出場校番号2 2	どれでも良いです。
1		67	第1次作業の終了合図時は、測点上に針を立てたままで良いか。良い場合、最終測点とNo.1'の2本なのか、それとも他の点にも立てておいて良いですか。	測量針をどこに立てても良いです。また、事前に器具点検を受けている針のうち、何本立てておいてもかまいません。

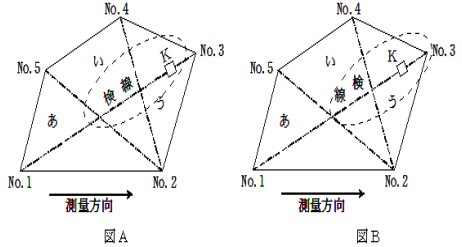
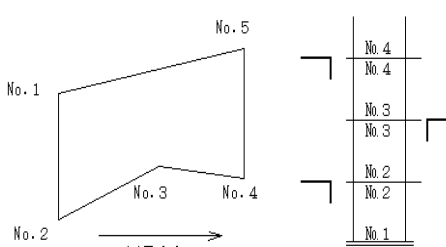

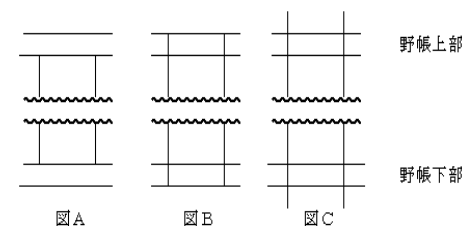
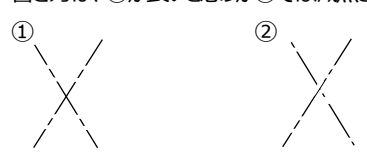
第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

1		68	最終測点において、第1次作業の終了合図の前後に、平板を動かしてしまった場合どうなりますか。	減点の対象とした上で、再度据え付け直しいただきます。なお、この行為が第1次作業の終了合図の前であった場合は、残り制限時間の許す範囲内で据え付け直し等の作業を続行してください。
1		69	第1次作業において、閉合誤差が10cm未満の場合は、終点と始点を結線しても良いですか。	減点の対象としませんが、閉合誤差が10cm未満かどうかについては、審査員の点検により判断します。
1		70	第1次作業の終了合図を行う前に、第2次作業に向けて対角線の位置やおおよその長さを確認すると減点になりますか。また、確認の際に三角スケールを使用しても良いですか。	減点の対象としません。また、三角スケールでおおよその長さを確認する行為も認めます。
1	2	71	測点を示す杭のようなものできていますか。また、杭の高さはどのくらいですか。	 <p>5cm×5cm×9cmの木製の杭です。測点の中心は、コノエネイルで示し、杭は競技場毎に色分けしてあります。また、杭を固定するために杭の角に穴を開けて、コノエネイルとは異なるアンカー(鉄の棒)で固定しているため、杭の角が一か所低くなっています。</p>
1	2	72	ポールは、器具点検の時から第2次作業の終わりまで、1本のみを持ち込んで作業してもよろしいですか。	実施基準のとおり、器具点検時には2本用意しなければなりません。作業に使用するのは1本でも良いです。
1	2	73	ポール2本のうち、使用しない1本をサークル内に置いたままにしておき、使用したポール1本のみを持って最終測点で作業終了の合図をしても良いですか。	良いです。作業で使用した器具のみを持って終了の合図をしてください。ただし、30mを超える測線の見通しの際には、最低1本は使用してください。
1	2	74	ポールや巻尺等の器具を各測点付近に置いて移動しても良いですか。	良いです。ただし、作業終了時に使用した器具を置き忘れた場合は減点の対象とします。
1	2	75	3倍速、4倍速、5倍速の巻尺の使用は可能か。	可能です。
1	2	76	全国大会実施基準 P.19(注2)に、「辺長の測定は2回以上行ってよい。」との記載がありますが、その解釈として、辺長測定は1回のみでも良いですか。	良いです。
1	2	77	測距の際に巻尺がたわみ、一度でも地面に接触したら減点の対象となりますか。	地面に接触しても引きつらなければ、減点の対象としません。
1	2	78	測距の際に、手や巻尺などが測点に触れた(あたった)場合は減点になりますか。	減点の対象としませんが、測点が動いてしまうようならば減点の対象とします。
1	2	79	第1次作業、第2次作業の測距の際に、巻尺の0点は先でも後でもよろしいですか。	第1次作業では0点を先(未知点側)にしてください。第2次作業ではどちらを先にしても良いです。
1	2	80	第1次及び第2次作業において、風により巻尺が他の競技場に入ってしまった場合、減点となりますか。	減点の対象とします。
1	2	81	第1次作業、第2次作業で、測点ごとに巻尺を巻き取らず、地面を引きずらないように2人で巻尺を引っ張って、次の測線に移動しても良いですか。	巻尺は、測定ごとに必ず前手と後手の距離が5m程度になるまで巻き取り又はたぐり寄せ、引きずらないように移動してください。30mを超える測定の場合も同様です。
1	2	82	第1次作業、第2次作業で巻尺を巻き取る(たぐる)際、地面に巻尺が接触した状態で、引きずらないようにして5m以下まで巻き取れば減点になりませんか。	巻尺を地面に接したままでも、引きずらないように巻き取れば減点の対象としません。
1	2	83	第1次作業、第2次作業の測距において、30mを超えていなくても中間点を設けても良いですか。	良いです。
1	2	84	巻尺は30mを少し超えていても計測可能なのですが、測線がわずかでも30mを超えていれば、1測長以上と判断し、中間点を設置しないといけませんか。	必ず1測長以上と判断して、測距用ピン等により中間点を設置して計測してください。

第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

1	2		85	中間点を設ける場合、測距用ピンを寝かせて置いても減点となりませんか。また、測距用ピンが地面に刺さりにくく、倒れてしまった場合は減点となりますか。	どちらの場合も減点の対象としません。ただし、測距の際は必ずピンを立てて測定してください。また、意図せずピンが倒れた場合は、再度見直し作業を行ってください。
1	2		86	30m以上の測定をする場合、中間点にいる者が測距用ピン1本で方向を定め、巻尺を合わせたあと、きりの良い所に測距用ピンを移動しても良いですか。	一度設置した測距用ピンをきりの良い目盛へ移動する場合は、必ず先（未知点側）の測点にポールを立てた状態で、見直し作業を行ってください。
1	2		87	中間点にいるものが測距用ピンを2本持ち、1本目で方向を定めて地面に刺し、2本目を1本目に沿わせて、きりのよいところへ置く場合、2本目も見直し作業は必要ですか。	先（未知点側）の測点にポールを立てた状態で、1・2本目ともに見直し確認を行えば減点としません。（2次作業の場合は、Q&A111の図を参照）
1	2		88	巻尺をまたぐと減点の対象となりますか。	減点の対象としませんが、測距中に巻尺を踏んだり蹴ったりした場合は、減点の対象とします。
	2		89	見取図板（野帳用下敷）を首から下げて吊るせるように、紐を付ける加工はしても良いですか。	良いです。
	2		90	第2次作業のスタート前に、サークル内で見取図板の上に定規等を置いていても良いですか。	スタートまでに何も記入しなければ良いです。
	2		91	オフセット野帳の「測量方向」の書き方は、No.1～No.2に平行になるように書くのですか。それとも用紙の下辺に平行になるように書くのですか。	用紙の下辺にほぼ平行になるように書いて下さい。
	2		92	オフセット野帳の略図は、北を上にして書くのですか。それとも、方位に関係なくNo.1～No.2が用紙の下辺に平行になるように書くのですか。	略図ですので、形がわかればどの向きでもよろしいです。
	2		93	第2次作業時の略図をフリーハンドで書いた時に境界線と対角線等が交わっていないと減点になりますか。	フリーハンドでもかまいませんが、なるべく全国大会実施基準どおりに仕上げて下さい。
	2		94	オフセット野帳内の「縦線2本」の長さは、大会前に教えていただけるでしょうか。	大会前には示しませんが、大会当日、使用する測点、オフセット野帳、面壽計算簿等を展示します。
	2		95	オフセット野帳内の「縦線2本」の長さを自分たちで継ぎ足しても良いか。	減点の対象とします。
	2		96	オフセット野帳で横の線が縦の線よりはみ出していなくても減点の対象となりませんか。	減点の対象とします。
	2		97	オフセット野帳の境界線、対角線、検線の間隔が均等でなくバラバラの場合は減点になりますか。	減点の対象としません。
	2		98	オフセット野帳において、No.1～No.2の境界線を野帳の一番下に書かなくてはなりませんか。また、対角線の順はどうですか。	野帳は境界線、対角線、検線の順で下から書いてください。境界線はNo.1～No.2から書き、対角線の順序は実施基準どおりに仕上げて下さい。
	2		99	第2次作業において、例えば3本の対角線が、No.2～No.5、No.2～No.6、No.3～No.5であった時、オフセット野帳に記載する順序は、下から順にNo.2→No.5、No.2→No.6、No.3→No.5の順序が良いのか、それともNo.2→No.5、No.3→No.5、No.2→No.6の順序が良いのか、どちらが正しいですか。	この場合、下から順にNo.2→No.5、No.2→No.6、No.3→No.5とオフセット野帳に記載してください。
	2		100	第2次作業において、例えばk点が、No.1～No.3上のNo.1側にある時、オフセット野帳への記載の仕方は、下からNo.3→kと記載するか、それとも下からk→No.3と記載するか、どちらが良いですか。	この場合、下からNo.3→kとオフセット野帳に記載してください。
	2		101	全国大会実施基準のP22のオフセット野帳で対角線	全国大会実施基準のとおりです。減点の対象とします。

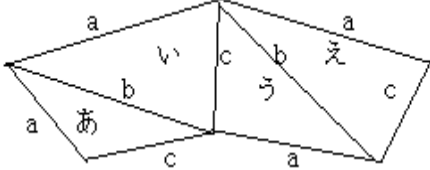
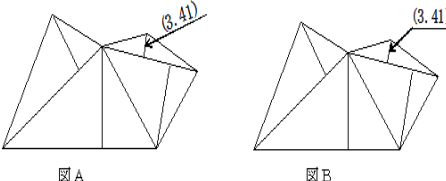
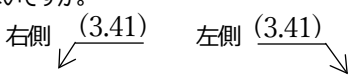
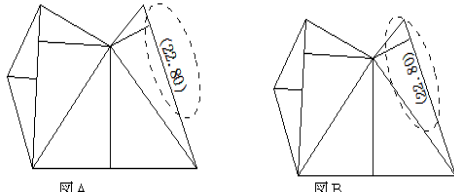
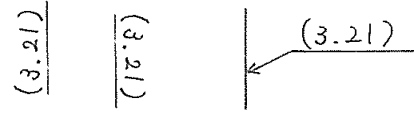
第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

			No.2~No.4の書き方で、No.4を下段にし、No.2を上段に記入しても減点となりませんか。	
2		102	オフセット野帳について、「」の記号は、ゞでも減点にはなりません。	全国大会実施基準のとおりです。減点の対象とします。
2		103	Kと検線の書き方はどのような書き方が正しいですか。 	文字と線が交差していなければ、全国大会実施基準の例や図A、Bのいずれの書き方でかまいません。
2		104	上記において、「検線」という文字の記載位置が求積区「い」内であるが、求積区「あ」内でも良いですか。	検線を示す線の上に記載され、他の線や文字に干渉していなければ、記載位置は問いません。
2		105	次のような多角路線の場合、オフセット野帳の測量方向を示す記号はこれで良いですか。 	良いです。また、「」印は区分線の延長線上に記入してください。
2		106	オフセット野帳を作成する際は、どちらの書き方も良いですか。 	図A、Bどちらの書き方も良いです。
2		107	オフセット野帳の記入は、下図のどれが正しいですか。 	野帳上部は図A、B、Cのいずれでも良いですが、野帳下部は、図A、Bのいずれかとしてください。
2		108	一点鎖線の点の書き方は、——・——、—— — —— のどちらでも良いですか。	どちらでも良いです。
2		109	オフセット野帳の見取り図で一点鎖線が交わる時の書き方は、①が良いと思うが②では減点となりますか。 	どちらでも良いです。
2		110	第2次作業での30mを超える測距において、ポール	遠い測点には必ずポールを立て、中間点にはポールか測

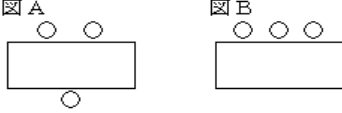
第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

			を使用しないで測距用ピンだけの目視で中間点を設置しても良いですか。	測距用ピンを立てて見通してください。測距用ピンだけの目視は減点の対象とします。
2		111	第2次作業での測距において中間点を目視する際、目視する側の測点に立てるのは、測距用ピンが正しいですか、ポールが正しいですか。 	測距用ピン又はポールのどちらでも良いですが、必ずどちらかを使用してください。
2		112	第2次作業における測距の際に、先に1測長以上の全ての測線上に測距用ピンを用いて中間点を設置し終えてから、計測をしても良いですか。	良いです。ただし、作業途中で測距用ピンが倒れた場合は、もう一度見通し作業をして中間点を設置し直してください。
2		113	30mを超える検線を測定する際、見通しを行う杭としてK点又は測点のどちらで行うのがふさわしいですか。	K点、測点のどちらでも良いです。
2		114	30mを超える検線を測定する際に、K点側から測点側に向かって測距をしても減点の対象になりませんか。	減点の対象としません。
2		115	30mを超える測線で中間点を設けた際、巻尺0mの位置は、測点、中間点のどちらでも良いですか。	第2次作業においては、どちらでも良いです。
2		116	第2次作業において対角線測距における移動の際、巻尺を5m程度まで巻き取って、そのまま巻尺を伸ばしながら次の対角線へ移動しても良いですか。	5m程度まで巻き取った後は、巻尺を伸ばしながら次の対角線まで移動するのではなく、対角線測距の際には対角線上まで移動してから巻尺を伸ばし始めてください。
2		117	第2次作業の対角線の測距について、前手と後手が対角線の中央付近から巻尺をのびながら測点に移動しても減点にはなりません。	対角線上まで移動してからであれば、減点の対象としません。
2		118	第2次作業において検線まで測定した後に境界線や対角線に測定ミスがあるかと思い再測をした場合は減点ですか。また、時間が余った場合に確認のためにいくつかの測線を再測定した場合はどうでしょうか。	減点の対象としません。
2	3	119	求積区を示す記号「あ・い・う・・・」の指定はされますか。また、第2次作業と第3次作業では同じ区分にしなければなりません。	競技実施要領の(2)指示事項工に明記しましたが、求積区「あ・い・う・・・」の位置は指定しませんが、チーム内で統一させてください。
2	3	120	オフセット野伸長及び仕上り図面に「単位(m)」を記載する代わりに、測定距離を示す全ての数字の後に「m」を付ければ減点になりませんか。	減点の対象としません。
	3	121	「測量年月日」の区切りの記入の仕方は、どちらが正しいですか。 A 4. 10. 26 B 4、10、26	Aが正しいです。また、西暦ではなく、和暦を使用してください。
	3	122	三斜法において、下図のように2人が向き合った状態で第3次作業を開始するのですか。それとも、机に横並びに座って開始するのですか。 	図Aの状態第3次作業を開始します。作業途中は、お互いに移動して作業してもかまいません。終了時はもとの位置に戻った状態で、合図をしてください。
	3	123	三斜法と三辺法の面積計算簿の「計」の欄において、記入不要なところに斜線は印刷してありますか。	印刷してあります。
	3	124	面積計算簿に「あ、い、う」等は記載されていますか。	記載されておりません。

第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

3	125	第3次作業において、図面を平板からはずして作業してもよろしいですか。また、はずす時間は作業時間外に確保されていますか。	良いです。図面をはずす場合は、作業開始前に行い、準備ができたなら図面を裏返してください。
3	126	図面を平板から外して作図した場合、作図終了後に再び平板に貼る必要がありますか。	再び平板に貼る必要はありません。
3	127	第3次作業時の落とし物も減点の対象となりますか。	減点の対象とします。
3	128	三斜法（aグループ）において、測定値を読む上げるために、声を出しても良いか。	声はかまいませんが、声の大きさは、他のチームの妨げにならないようにお願いします。
3	129	三斜法（aグループ）の面積計算において、底辺は最長辺としなければいけませんか。	はい。減点の対象とします。
3	130	第3次作業において、オフセット野帳を見ながら面積計算をする際に、オフセット野帳に転記しやすいように(a,b,c)を各辺に書いても良いですか。	第3次作業時において、オフセット野帳の書き換え、書き足しは減点の対象とします。
			
3	131	三斜法で、高さを記入するスペースがほとんどない場合、どのように書けば良いですか。	図Bのようにしてください。
			
3	132	上記において図Bの(3.41)は、高さの線の傾きから距離の数字を右側ではなく左側に記入となるのではないですか。	引出線の記入方法について、左側か右側かは問いません。
			
3	133	図面仕上げにおいて、数値の書き方はどちらが正しいですか。	図Aが正しいです。数字は、北方向を上として見た時に上向き目付線に書くことを原則とします。その際、数字を書く位置は、境界線の内外を問わない。
			
3	134	図面仕上げにおいて、三角形の底辺または高さが垂直になった場合の数字の書き方を教えてください。	線が垂直な場合、数字は線の上に横書きを原則とします。線の左右の指定はしません。
			
3	135	面積計算において計算ミスをして、その後の計算へ影響した場合、どのように採点されますか。	計算ミスの箇所についてのみ減点とします。減点後の関連した計算は減点しません。ただし、さらに計算違いをした場合は、減点の対象とします。
3	136	面積較差が選手の計算ミスにより制限を超えたが、審	計算ミスのあった場合は、選手の計算した値（面積計算

第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年度熊本大会平板測量競技会事前 Q&A

				査員が正しく計算し直した値が制限内であったとき、どちらの値により審査が行われますか。	簿に記載されている値)と審査員が正しく計算を行った値とを比較し、較差の大きい方の値を用いて審査します。
	3		137	完成図面の図形が極端に端の方にあり、図厚線の余白が他の箇所比べて狭くなる場合は減点対象となりますか。	実施基準 (P.24) 3.図面 2)仕上りの不良・・・「現状により審査」に該当します。著しい場合は減点を行います。が、入賞判断の際の参考にします。
		雨	138	雨天時の第1次作業において、作業開始時は図Aのように2人と1人が向き合った状態で開始するのですか。それとも、図Bのような状態ですか。また、作業開始後は移動しながら作業しても良いですか。 	図Aの状態第1次作業を開始します。作業途中は、お互いに移動して作業してもかまいませんが、終了の合図は元の位置に戻ってから行ってください。
		雨	139	雨天時の第1次作業において、境界線、対角線及び検線の距離測定について、座標計算をしても良いか。	座標計算による距離の算出及び座標法による面積計算を禁止します。違反した場合は、減点の対象とします。
		雨	140	雨天時作業の際、オフセット野帳に不必要な記載をしても、終了合図前に消せば減点になりませんか。	終了合図前に筆跡が残らないように消せば、減点の対象としません。
		雨	141	雨天時の図面において、座標位置を示す破線と底辺や高さの線が重なった場合の対処法を教えてください。また、これにより高さや底辺の値が書けない場合はQ&A131のように記載すれば良いですか。	実線を優先して破線の上に引いてください。また、値が書けない場合は、Q&A131のように記載してください。